

Fujitsu Technology and Service Vision

エグゼクティブ サマリー

富士通の価値観と共創の約束

富士通グループは、人々の生活や社会をICTで支えること、そして、お客様にとっての価値の実現にICTの力を役立てていくことが、私たちの役割であると考えています。

富士通は常に大きな夢に向かって挑戦してきました。私たちはグローバルで従業員数173,000人の世界第3位のITサービス企業です。日本発のグローバルカンパニーとして、日本らしさを大事にしながら、世界各地の地域性を尊重したグループ運営を行っています。その求心力となる企業理念、価値観および行動指針を示したものが「FUJITSU Way」です。世のため人のために役に立つ、そのために高い目標にチャレンジし、あきらめられない。このような意識を社員一人ひとりが持ち、厳しい状況においてもFUJITSU Wayに則った行動を取っていくことが富士通の強みです。

FUJITSU Way

企業理念

富士通グループは、常に変革に挑戦し続け
快適で安心できるネットワーク社会づくりに貢献し
豊かで夢のある未来を世界中の人々に提供します

2010年、富士通は新たなブランドプロミス「shaping tomorrow with you」を制定しました。この中に富士通らしさが何かを表現し、「お客様をはじめとする様々なステークホルダーの皆様とともに豊かな未来を創造する」という想いを込めました。全世界の社員一人ひとりが「shaping tomorrow with you」の行動をお約束します。

Fujitsu Technology and Service Vision

今後のビジネス・社会にICTがどのように貢献していくのかに対する私たちの考え方を、この「Fujitsu Technology and Service Vision」としてまとめました。この中で、富士通の描く新たな社会のビジョンとそれを実現する方法、そしてビジネス・社会の変革のシナリオおよび富士通のテクノロジーとサービスのポートフォリオを体系的にまとめました。今後、お客様や様々な方々のご意見をいただいて、定期的に改版していきます。

ICTの新たな役割

情報の高度な利活用が、人々の活動・ビジネス・社会全体に変革をもたらす鍵となります。

ICTの急速な進歩が人々のライフスタイルやビジネスに大きな影響を与えています。世界中がネットワークを介してつながり、日々膨大な情報が生み出されています。

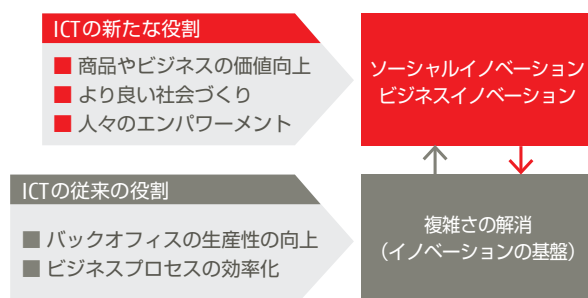
この背景には、コンピューティング・パワーやネットワーク速度の飛躍的な向上があります。さらに、家電製品、自動車、機械、住宅そしてエネルギーや交通などの社会システムがつながったInternet of Things (IoT) が出現しつつあります。そこから流れ込んでくる大量・多様な情報を分析して意味のあるパターンを見出す技術が飛躍的に進展しています。これらのテクノロジーの進歩を背景に、社会は今、大きな転換点を迎えています。

この転換点において革新を導く鍵となるのは、「情報」です。これまでの情報活用との違いは、広範な情報をネットワークを通じて「リアルタイム」で把握し、活用することが可能になってくることです。たとえば言えば、刻々と変化する全ての情報が、個人や企業にとって意味のある形で、手のひらの上に整理されてきます。

これまでICTは、生産性向上やビジネスプロセスの効率化を主眼に貢献してきました。今、私たちのお客様そして社会のリー

ダーから、お客様の商品やビジネスの価値向上、社会の問題解決やより良い社会づくりに対するICT活用への期待が非常に多く寄せられています。富士通は、従来のICTシステムの複雑さを解消して基盤を強化すること、新たな情報活用技術を活かしてイノベーションを実現することを相互に連動させることが重要だと考えています。

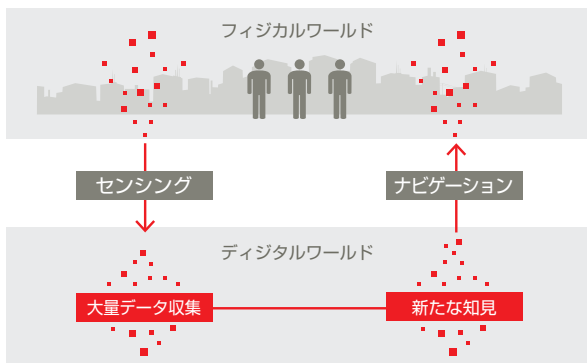
富士通は、新たな社会のビジョンとして、次にご紹介するヒューマンセントリック・インテリジェントソサエティを提唱しています。そして、急速に進歩するICTが、人々がビジネス・社会を変革し、地球環境全体の持続可能な成長を実現していく力になると確信しています。



ヒューマンセントリック・インテリジェントソサエティ

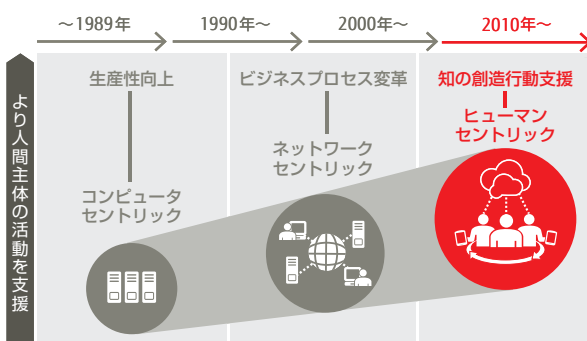
人々が可能性を最大限に発揮してイノベーションを生み出し、安心安全に暮らし、そして情報が新たな価値を生み出し、社会が持続的に成長していく世界を富士通は実現したいと考えています。富士通はこれをヒューマンセントリック・インテリジェントソサエティと呼んでいます。

インターネットが普及し、コンピュータ上の仮想的な空間であるデジタルワールドが出現しました。今、重要なことは、このデジタルワールドと私たちが手に触れる現実の世界であるフィジカルワールドが一体化してきていることです。私たちが生活する社会のリアルタイムの状態がセンサーを通じて把握され、多様な情報がデジタルワールドのコンピューティング・パワーで分析されます。そして、分析から生み出される新たな知見が人々の判断や行動を自然にサポートします。



ヒューマンセントリックなICTの時代へ

コンピューティングは、その黎明期のメインフレームに始まるコンピュータセントリックな時代、そしてクライアント・サーバのモデルに代表されるネットワークセントリックな時代へと変遷してきました。スマートデバイスを一入ひとりが手にし、クラウドを通じて知見を得ることができるようになった今、コンピューティングは人を中心としたヒューマンセントリックな時代に進化していきます。



コンピューティングの力は、生活・企業活動・社会基盤の中に埋め込まれ、人にやさしく寄り添って人と人の協働や最適な判断をサポートし、活動を支援します。これまで個別のコンピューティングシステムに分断されて管理されていた情報が、人の判断の役に立つように整理・統合され、人々が情報を高度に活用できるインテリジェントな社会が実現されていきます。

実現に向けた3つのアクション

私たちのビジョンは一夜にして実現するものではありません。しかし、着実に実現していく道があります。富士通は、ヒューマンセントリック・インテリジェントソサエティの実現に向けて、お客様・社会とともに「人」「情報」「ICT」に対応する次の3つのアクションを実行していきます。

1. 人が活動する場でのイノベーション実現

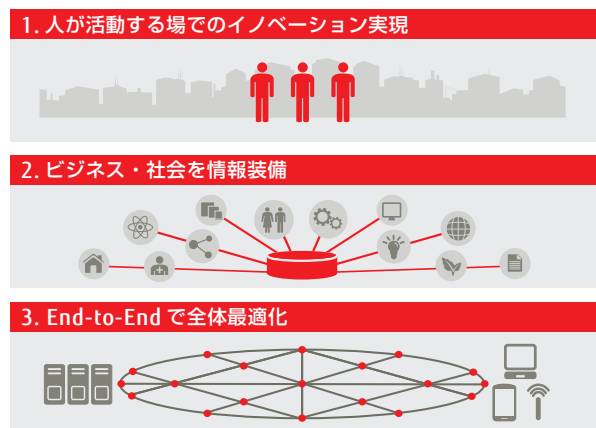
- 人々を包み込むICTの力により、社会やビジネスのフロント（現場）で、人々が創造性を発揮
- フィジカルワールドとデジタルワールドを融合させて革新的な価値を創出

2. ビジネス・社会を情報装備

- 多様な情報の収集・分析から得られる知見により人の活動を支援
- 情報の利活用により商品やビジネスの価値を向上、より良い社会インフラを構築

3. End-to-Endで全体最適化

- 企業・社会の既存ICT資産を最適化し、イノベーションのための基盤を整備
- 人・企業・社会をつなげる、ネットワーク・ワイドに最適化され、コンピューティングとネットワークが融合したICTシステムを構築



ビジネスと社会のイノベーションの姿

ヒューマンセントリック・インテリジェントソサエティの実現に向けて、高度な情報活用が人々の活動に変革をもたらしていく、6つのコンセプトをご紹介します。

1. フィジカル+デジタルのビジネスモデル

フィジカルとデジタルを一体化させたビジネスモデルが、イノベーションを生み出します。

- スマートデバイスやソーシャルネットワークを使い、リアルタイムでの顧客との関係性を構築
- 商品をMachine to Machine (M2M)でつなげ、サービス提供
- 家電や車を含む多様な商品がサービスプラットフォームを通じてつながり、商品に付加価値サービスを提供するエコシステムを形成

主な適用領域

顧客との関係性

M2Mサービス

サービス
プラットフォーム

2. 情報が結びつける世界

情報が地域や企業・業種の境界線を越えて人々を結びつけ、知を集約・創造します。

- グローバルな情報を一元的に可視化し、全体のオペレーションを最適化
- 異なる機関や企業が情報連携することにより、人を中心としたサービスを提供
- 人々が多様な情報を提供・利用できるマーケットプレイスの発達

主な適用領域

グローバル情報
マネジメント

地域医療連携

情報流通
マーケットプレイス

3. コンピューティングのもたらす新たな力

コンピューティング・パワーの飛躍的な向上がサイエンスの領域とエンジニアリングの領域を結びつけ、人々に新たな力を付与します。

- スーパーコンピュータのシミュレーションを活用することにより、これまでコストや時間の面で実施困難だった実験や検証を仮想的に実行
- クラウドプラットフォームでスーパーコンピュータの力を利用することにより、企業のみならず社会や地域産業全体を活性化し、知の創造を加速

主な適用領域

新薬の開発と
効果検証

自然災害対策

ものづくりの革新

4. リアルタイムの対応

従来、私たちは過去の情報に基づき推測を働かせて判断してきました。新たなテクノロジーが、判断基準をリアルタイムの事実に基づく判断へと変えていきます。

- 不確実な世界では、起こっていることをリアルタイムで把握・分析し、未来に対して最適な打ち手を実施することが重要
- ウェブやセンサーからの大量・多様な情報をリアルタイムに処理し、意味あるパターンを抽出して知見を導くコンピューティング技術が進展し、人々の判断・行動を支援

主な適用領域

ビジネス状況の
把握と最適化

気象予測
故障トラブル予測

予防医療

5. 人のつながりと協働

ソーシャルネットワークがビジネスの世界に浸透し、垣根を越えた協働が価値を生み出していきます。

- 今後のワークスタイルは協働が主体となり、ワークライフ・バランスを維持しながら成果を追求
- これからのICTはあたかも見えない衣服のように人を包み込んで、その場のコンテキスト(状況、文脈)に応じて最適なサポートを提供

主な適用領域

ワークスタイルの
変革

コラボレーション

コンテキストに
応じたサービス

6. インテリジェントな社会基盤

持続可能な社会の実現のために、個別の社会基盤システムを連携させ、生活者の視点で情報を統合・整理して社会サービスを提供することが重要です。

- ICTはその手段として社会基盤の領域に浸透し、センサーなどからの情報分析から得られる知見により人々の最適な判断・行動を支援
- 地域の人々や行政・企業とともに複雑な問題に立ち向かい、持続可能な未来のシナリオ作りを支援

主な適用領域

エネルギー
スマートシティ

車・交通

食・流通
第一次産業

健康・
医療、福祉

環境

教育

富士通のICTバリュー

富士通は3つのアクションを実行し、お客様の変革を支援していくために、テクノロジーとサービスの統合されたポートフォリオを提供していきます。



3つのアクションを実行していくため、富士通のテクノロジーとサービスを8つのコンセプトを軸に整理しました。これらを最適に組み合わせることにより、お客様の事業価値の実現を支援します。富士通は、これらのテクノロジーやサービスを社内横断的に開発・強化し、体系化された商品を提供していきます。そのために、基盤としての技術力、品質と信頼を追求します。また、社会全体の環境課題として「低炭素」、「資源循環」、「自然との共生」を掲げ、全ての面で地球環境への配慮を徹底し、すべてをグリーンにすることを目指します。

1. 人が活動する場でのイノベーション実現

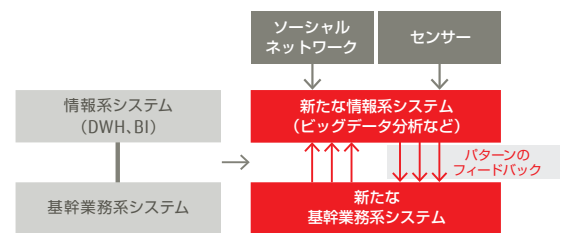


インテグレーションによる価値創造

富士通はお客様のビジネスの強化、さらにその先のビジネスイノベーションやより良い社会づくりのために、「shaping tomorrow with you」のブランドプロミスのもとで価値共創に取り組んでいきます。従来のICTシステムと新たなテクノロジー・サービスを最適に統合し、お客様の事業価値を高めます。

- お客様の共通課題である既存ICT資産の複雑さの解消、その次の一手としての競争力強化、さらに豊かな社会の実現に向けて、テクノロジー・サービスを最適に統合し、価値を創出します。
- ビッグデータ分析という新たな情報系システムから得られる知見を基幹業務系システムにフィードバックさせることにより、お客様のビジネスを強化します。
- お客様の事業価値向上のため、ICTシステムの構築・運用だけでなく、事業プロセスやそのプロセスを実行する人まで含めたトータルなサービスマネジメントを提供していきます。

新たな情報系システムと基幹業務系システムの連動

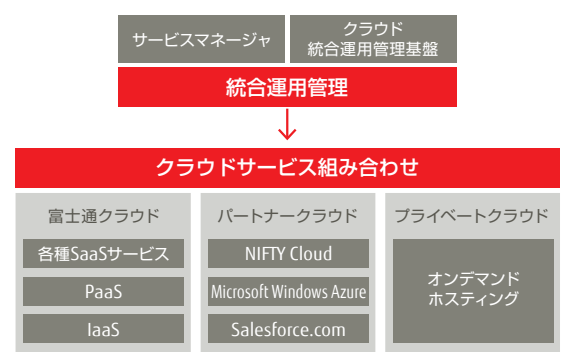


オンデマンド・エブリシング

クラウドサービスの導入は、人々が活動するフロント(現場)や社会基盤領域における高度な情報活用を可能にします。富士通は、オンデマンド・エブリシングをコンセプトに、お客様の目的に対して柔軟に対応するクラウドサービスを迅速に統合して提供し、高信頼のクラウドサービスをグローバルに展開します。

- 富士通は多様なサービスを組み合わせる最適なクラウドサービスをワンストップで迅速に構築し、稼働後の運用管理まで一貫してサポートする、「クラウドサービス・インテグレーション」を提供。お客様の柔軟な事業展開とコスト最適化を実現します。
- 高信頼のグローバルスケールのクラウドサービス基盤を日本、オーストラリア、シンガポール、米国、英国、ドイツに展開し、99.9998%以上の稼働率(2012年)を達成。24時間対応のセキュリティ体制で、お客様のグローバル展開を最適に支援します。

クラウドサービス・インテグレーション



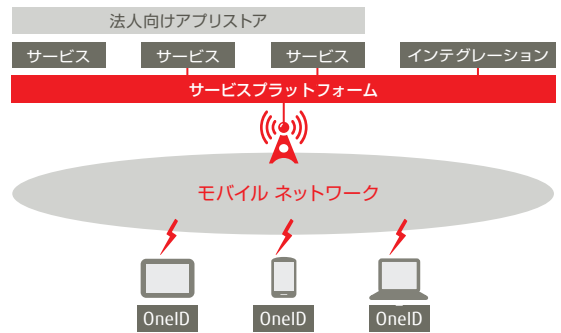


モビリティとエンパワーメント

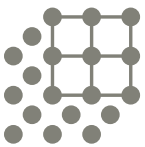
スマートデバイスの普及とともに、エンドユーザーが素早く多様なサービスを利用できるモデルがビジネスの世界に浸透してきています。富士通は、高い信頼性のビジネス向けモビリティ・ソリューションとサービスを提供するとともに、ヒューマンセントリックなICTの力で人々の活動をサポートしていきます。

- 富士通は、日本においてビジネスユーザ向けの信頼性の高いモバイル・サービスプラットフォーム事業を展開する計画です。エンドユーザーは一つのID (OneID) で多様なサービスにアクセスできます。企業の業務アプリケーションや情報分析ソリューションを、フロントのスマートデバイス上のアプリから、必要に応じて組み合わせ活用できるようにし、営業・保守・医療など様々な現場のユーザーの活動を支援していきます。
- フィジカルワールドとデジタルワールドを一体化させ、スマートデバイスなどを通じて、「その場所・そのとき」に最適な情報によって人の判断・行動を支えるサービスを実現していきます。

ビジネス向けサービスプラットフォーム



2. ビジネス・社会を情報装備

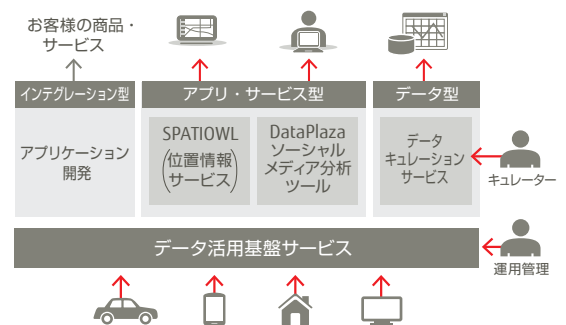


情報からの新たな価値

人々の活動、ビジネス、社会の変革の鍵を握るのは高度な情報活用です。富士通は、ビッグデータ活用クラウドサービスとお客様サイトに設置して利用いただくソフトウェア・システムの両輪で、ビジネス・社会の情報装備を実現します。

- 富士通は、ビッグデータ活用クラウドサービスを展開し、データ活用に必要な技術を統合して提供。この実践で培った技術・ノウハウをソフトウェア商品として提供しています。
- ICTは様々な商品や社会システムの中に組み込まれていきます。先端のセンサー、モビリティ機能などを含むソリューションを提供し、お客様の変革を支援します。
- 多様な企業や組織間の情報利活用の場としての「DataPlaza」を構想し、情報流通を活性化していきます。

クラウド型データ活用プラットフォーム



セキュリティとガバナンス

これからのインテリジェントな社会を支えるため、情報セキュリティ、ガバナンス、プライバシー保護をトータルに考え、最適なソリューション・サービスを提供していきます。

- スマートデバイスなどデバイスの多様化に対して、認証基盤を充実させるとともに、デバイス資産管理、アプリ管理、紛失・盗難対応などを包含する一元的な管理を強化します。
- サイバー攻撃に備えて、予測・予見ベースの「セキュリティ・インテリジェンス」を開発・提供していきます。
- 暗号化・匿名化の技術開発によりプライバシー保護を強化し、安心できる情報活用環境を実現します。

トータルなセキュリティ確保とプライバシー保護



* Near Field Communication

3. End-to-Endで全体最適化



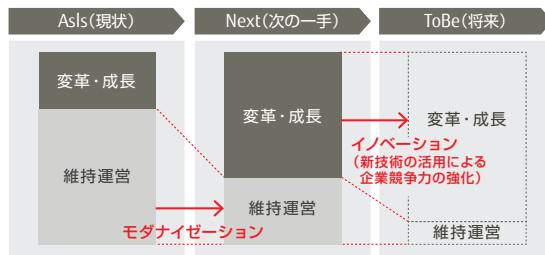
モダナイゼーションからイノベーションへ

これからのICTシステムは人の活動を中心に設計され、ICTインフラ、アプリケーション、そして維持運営が全体として最適化されていることが理想です。富士通は、既存ICT資産のモダナイゼーションによる維持運営コストの負担軽減とイノベーションを生み出していくための基盤づくりを支援します。

- 企業の2012年のICT支出に占める維持運営コストの割合は、全世界平均で65%、日本では78% (ガートナー社調査*)という高い比率です。
- 富士通は、「アプリケーション」、「ICT運用」、「ICTインフラ」という3つのICT領域の最適化により、お客様のICTシステムの複雑さの解消をはかり、ICT維持運営コストの軽減を支援します。

* 「IT Demand Research Bulletin Issue 45」(2013年1月28日)、「IT Key Metrics Data 2013: Key Industry Measures: Cross Industry Analysis: Multiyear」(Jamie K. Guevara他共著、2012年12月14日)

ICT総支出に占める維持運営コストの負担軽減

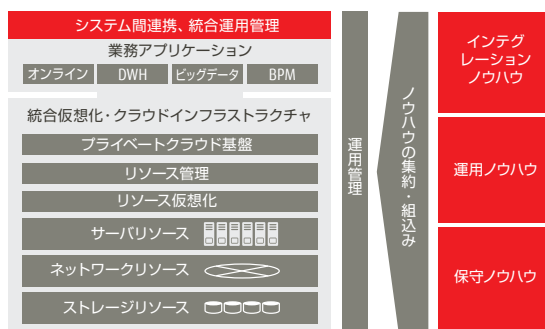


統合されたコンピューティング

富士通は、ハードウェア・ソフトウェア技術とインテグレーション・運用のノウハウを駆使し、業務に最適化されたコンピューティング・システムを提供します。さらに、それら技術・ノウハウを融合させた垂直統合システム「Dynamic Integrated Systems」によって、お客様の競争力を強化します。

- 「Dynamic Integrated Systems」の価値は、「すぐに使える」ことによるフロント業務の俊敏性強化、迅速なシステム構築と高度な運用保守性によるICT構築・維持運営コストの低減、ならびにハードウェアとソフトウェアを最適に組み合わせることによる高いパフォーマンスです。仮想化・クラウド基盤、高速データベース、ビッグデータ活用などのサービス業務目的に最適化された製品を順次提供していきます。
- 垂直統合システムの要は、ハードウェアやソフトウェアを最適に自動設定・自律運用させるインテリジェントなソフトウェアです。富士通は、データセンター施設まで含めた省電力化や全体システムの最適化技術の研究開発を強化していきます。

Dynamic Integrated Systems

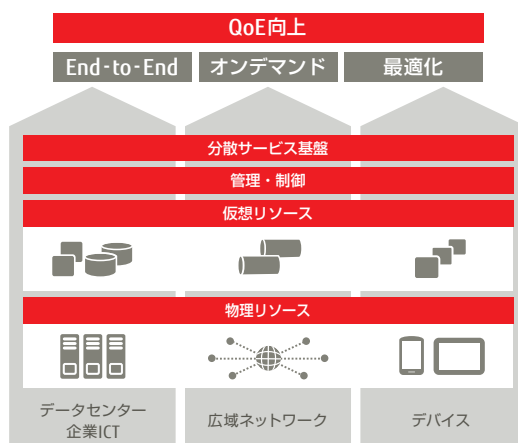


ネットワーク・ワイドな最適化

ネットワークを介した高度な情報活用を支えるため、Software Defined Networking (SDN)の考えに基づいて、コンピューティング、ネットワーク、モビリティの技術を融合し、ネットワーク・ワイドで最適化されたICT基盤を提供していきます。

- 次世代のICT基盤は、コンピューティング・リソースを分散配備してネットワークで最適につなぐ、分散コンピューティングに進化していきます。
- 富士通はコンピューティングから広域ネットワーク、そしてエンドユーザーが使用するスマートデバイスまでの全体を最適化する次世代のアーキテクチャとして「Fujitsu Intelligent Networking and Computing Architecture」を策定。End-to-Endでの高信頼性、オンデマンドでのサービス提供、トータルコストの最適化、そしてQoE (体感品質) 向上を実現するものです。本アーキテクチャに沿った商品を順次提供していきます。

アーキテクチャ概念図



富士通株式会社

〒105-7123 東京都港区東新橋1-5-2

汐留シティセンター

電話: 03-6252-2220(代表)

0120-933-200(富士通コンタクトライン)

<http://jp.fujitsu.com/>

商標について

記載されている製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

将来に関する予測・予想・計画について

本冊子には、富士通グループの過去と現在の事実だけでなく、将来に関する記述も含まれていますが、これらは、記述した時点で入手できた情報に基づいたものであり、不確実性が含まれています。従って、将来の事業活動の結果や将来に惹起する事象が本冊子に記載した内容とは異なったものとなる恐れがありますが、富士通グループは、このような事態への責任を負いません。読者の皆様には、以上をご承知いただくようお願い申し上げます。

「Fujitsu Technology and Service Vision」の一部または全部を許可無く複写、複製、転載することを禁じます。

©2013 FUJITSU LIMITED

環境への配慮

- 有害物質の使用量や排出量が少ない「水なし印刷」技術を使用しています。
- 森林保全につながるFSC® (Forest Stewardship Council®)「森林認証紙」を使用しています。
- VOC (揮発性有機化合物)を含まない「植物油インキ」を使用しています。



2013年6月発行

FV0002-1